

# 通信

# No. 44

2011年 秋号

発行：子育てサポートくるみ

住所 羽曳野市壺井508-1

TEL 072-957-3282 FAX 072-958-4089

素敵なHPです！どうぞご覧ください → <http://kosodate-kurumi.com>

「子育てサポートくるみ」は、共同保育園を運営し、学童保育、障がい児保育、児童デイサービス、子育て支援事業を行っているNPO法人です。

子どもを育むのに大切な「自然・環境」「食事」などにこだわりを持ち、全国や海外からも注目されています。ぜひ、くるみのことを知ってください&応援してくださいね♪

## 食べる意欲は生きる意欲！

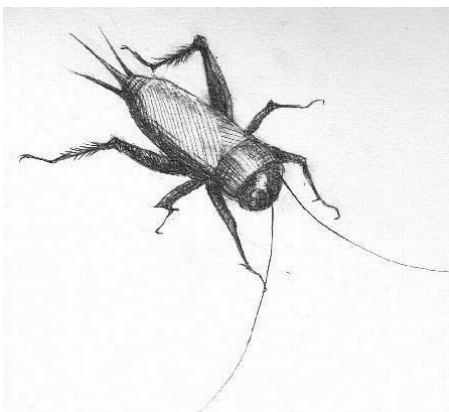
夏にたっぷり水遊びをした子どもたちは、秋を迎えて体も心もひとまわりたくましくなっています。心地良い気候の中、野山へどんどんと出かけて、秋の味覚探しに夢中になっています。あけび、くり、むかご、柿などを見つけて、籠いっぱい収穫があった時はみんな大喜びです。

4歳、5歳の子は柿や、あけびを、2歳、3歳の子はむかごや、落ちていた山ぐりを取ってきます。園に帰ってくると「いっぱい取れた～」と他のクラスの子どもや大人に自分たちの収穫物を嬉しそうに見せてくれます。食卓におかずの一品やおやつとして自分たちが取ってきたものが出てくるとみんな大喜びして、分け合っ食べます。0歳、1歳の子たちにも「どうぞ。」と持って行ってみんなで味わいます。「わぁ～おいしかった。ありがとう！」と喜ばれるとまたはりきって探しにでかけます。

体をしっかりと使い楽しい体験をする、それが一人ではなく仲間と一緒にできる。子ども同士の関わりもさらに深く、豊かになっていきます。

体も心も充実してくる子どもたち、食欲も本当に旺盛になっていきます。この季節、くるみの台所では食事の量を増やし、子どもたちが思う存分食べられるように「おかわり」を多めに作ります。

「食べる」事は子どもたちの心と体をつくる大切な事と考えているくるみは、食材の吟味はもちろん調理方法も子どもたちの発達をふまえて工夫しています。0歳児の離乳食は月齢や子どもの様子に応じて個別に作っています(詳細は風土社発行の雑誌「チルチンぴとkids」に掲載されています。)。3歳未満の子どもには油で揚げたものは与えていません。油の多い物は、まだ内臓が未熟な子どもの胃や腸に負担をかけるためです。3歳からも、揚げものは週に一度出てくる程度です。



基本は和食です。日本人の体や風土に適した食事を大切に、文化も一緒に食べることを意図しています。食事文化です。日本の行事や季節を感じられるように考えています。

とは言っても、園での食事は1日1回です。懇談会や調理実習を通じ、過程での食事の見直しなど、家と園とが一致し協力し合っ子どもを育てていけるよう取り組んでいます。こうして、子どもたちは好き嫌いを乗り越えなんでも「パクパク」食べるようになっていきます。

月2回行われている、くるみの給食体験では、くるみの食事や、子どもたちの食べている様子を体験することができます。(要予約) どうぞ、くるみ共同保育園に足を運んでみてください。

## 学童にとっての夏休み

学童にとっての夏休みは、継続した活動ができる最も充実した期間といえます。今年も、朝から夕方まで 21 人の学童児（1 年～6 年）が 40 日間いっしょに生活をしました。

1 年生から 5 年生がバランスよく入るよう 6 年生が考えた 3 つの班に分かれ、6 年生が班長を務めました。班で分担した、朝の掃除・昼食準備・片付けは、最初はなかなかうまくいきませんでした。日が経つにつれ連携プレーがうまくできるようになりました。

みんなで野球・サッカー・ドッチボール・キックベースや、室内でのトランプ等を楽しんだり、小刀を使っての竹細工にも挑戦しました。

その中で、何といても夏は“泳ぐ”ことが、子どもたちの楽しみです。「ドル平泳法」の指導ができるボランティアの方の協力を得て、小学校のプールで 3 日連続の水泳指導を受けました。これは毎年、学童の重要な活動の 1 つとなっています。ドル平で呼吸ができ、楽に泳ぐことから始まり（1 年）、距離をのばし（2 年）、クロール（3・4・5 年）、平泳ぎ（6 年）と、学年ごとに目標を決めてその達成を目指すとともに、海や川での遊びが豊かにかつ楽しくなるように積み上げていきます。こうすることで、どの子どもできたという達成感を持つことに繋がっていきます。

大きな取り組み

### ☆ キャンプ

観光バスをチャーターして、1 泊 2 日で京都府立青少年海洋センターに行きました。親も実行委員会を作り子どもの活動をどう支えるか？を考え話し合いました。

泳ぐ力をつけている子どもたちは、飛び込み・リレー・貝採り等を満喫します。もちろん夜のキャンプファイヤーも楽しみの 1 つです。また、6 年生は、自分が楽しむだけでなく、“みんなが楽しいキャンプにする”という大きなテーマをもって取り組みました。

### ☆ 平和学習

「平和」とは、ただ“戦争がない”というだけではなく もっと奥の深いものです。

子どもは、日常的に大人の生き方から学びとっていることが多いと思います。といっても、子どもには“見て、聞いて、考える”すなわち「事実からの学び」が必要です。くるみでは、5・6 年生になると、長崎・岡山の姉妹園と合流して、隔年で「広島」「沖縄」での平和学習に取り組んでいます。

今年は沖縄行きでした。5 日間の日程で、2 日間、沖縄平和委員会の方にお世話になり、66 年前の沖縄（平和祈念館・ひめゆり・アブチラガマなど）と今の沖縄（普天間基地・嘉手納基地・辺野古など）を学びました。あとの 3 日は、海・珊瑚・エイサー・水族館・・・充実した 5 日間でした。

### ☆ 他の学童との交流（2・3・4 年）

兵庫県梯少年自然の家で、兵庫・岡山の学童と交流合宿をしました。学童の枠を超えて班を作り、川遊び・朝食作り・キャンプファイヤーを楽しみました。

## 屋根がきれいになりました



お気づきですか？くるみの屋根が色鮮やかになりました。

公益信託二度童子奥田基金からの助成を受け、屋根の補修、塗り替えを行うことができました。

遠くからでも良く目立ちます。赤い屋根を目印に遊びに来てください。

# 桂吉弥落語会

桂吉弥さんの落語会が、9月25日（日）に行われました。残暑もやわらぎ、さわやかな風がふくなか、心地よく笑うことができました。

9月の初めにはチケットは売れそうだけど入金がない！という不安な気持ちもありましたが、ふたを開けて見ればホールがいっぱいになるほどたくさんの参加者が来て下さいました。

今回は、吉弥さんの「青菜」「親子酒」を聞かせていただきました。吉弥さんは、すてきな声を響かせ、間の取り方も絶妙でした。落語をほとんど知らない子ども、落語の楽しさにすぐに引き込まれてしまいました。昨年度同様に、吉弥さんのお弟子さんの弥太郎さんもお招きし、「たぬさい」を聞かせていただきました。

また、くるみの関係者以外にも、地域の方々やその他多くの方々に参加していただき、「くるみ」について知ってもらうこともできたようです。様々な方々と素敵な笑いの時間を過ごすことができ、とても気持ちの良い落語会となりました。



（参加された方の感想です）

◎出かけて生で聞く機会がもてない私には、本当に楽しいひと時を過ごさせて頂き、ありがとうございました。やはり、生で聞く落語は本当に素晴らしいです。

◎本格的な落語会を素晴らしい環境の中で聞かせて頂きありがとうございました。来年もまた来てください！！

◎とてもおもしろかったので、ぜひ、又来年も来たいです。子どもたちに本物を見せる事ができて、よかったです。

◎男前で華があって、お話もおもしろい！次代の米朝吉弥さん。思い切り笑わせていただきました。ありがとうございます。いいお師匠さんをもたれた弥太郎さんもがんばってください。

◎吉弥さんのお弟子さんのたぬきのお話もおもしろかったです。吉弥さんはテレビで見るのと同じ好印象です。お客様の空気をよんで、そのお話に皆を引き込んでいく堂々としたお話しぶり。色々七変化に変わっていくお話はとても魅力的でした。大きいホールまで出向かなくても、こういう風に落語を聞けて、子どもたちも身近にかんじることができたと思います。これからもお身体に気をつけてますますご活躍下さいね！ありがとうございました。

◎非常に良かった。楽しかったです。前面に居た子どもたちもおとなしく聞いていたのには、感心しました。また、来年も出来たら良いと思います。



# ～くるみ設立 40 周年記念レセプション～

子育てサポートくるみは、2010年7月1日に設立40年目を迎えました。1970年に6畳1間で3人の子どもと保育士1人でスタートし、1980年羽曳野市白鳥のプレハブ園を経て、1991年ここ壺井園舎に移転、現在に至ります。そしてこのたび、10月10日(月)くるみ保育園ホールにて、設立40周年記念レセプションを開催いたしました。

この日は、卒園生・保護者OB・旧職員に在園保護者と職員、総勢101名の参加がありました。ホールの壁一面に張り巡らされた、1期生から今春卒園した子ども達が描いた197枚の絵に囲まれ、決して華やかではありませんが、しつらえも用意された軽食も全て手作りで、写真スライドショーで古市時代からの40年間を振り返り、あの日あの頃歌った歌を会場全員で大合唱。日本が大きな災害に見舞われた今年、未来への希望を願って、平和の歌、元気のでる歌を選びました。

創設期の苦労を共にし、支えあった子育て仲間との再会。それぞれに成人し、自らの人生を歩んでいるかつての子ども達。在園保護者は、名前でしか知らなかった伝説の大先輩から苦労話を直に聞くことができました。この日集った人たちの中でまた新たな出会いがあり、次代へと続く繋がりが生まれました。

くるみと深いご縁があり、特別ゲストとしてお祝いに来てくださった名川太郎氏(NHK朝のラジオ体操・ピアノ伴奏)がミニコンサートで花を添えてくださいました。そして、現職員達によるサプライズ、サムノリ演奏でフィナーレとなり、アツという間の3時間でした。

40年にわたって築かれたくるみの歴史にふれ、子ども達の幸せを願う多くの方々の積み上げた努力と支えてくるみが今ここに在ることを心に刻み、創設以来の深い意志を引き継ぎ、さらに50周年、60周年へと繋いでいきたいと思ひます。



## 参加者の感想から

### 卒園生

私はとにかく、くるみが大好きです。パワフルな保育士と一緒にパワフルに育ったと思います。いつかは自分の子どもも入れたいなと、漠然と考えています。

これからも、くるみ40周年といわず、100周年いやもっと長く続いたら良いなと思います。

(大学1年生の女の子)

### 在園

今日集まれた方々の顔を見て、「あ、これがくるみの歴史なんだ」と感じる事ができました。

10年後、20年後に今のくるみっ子が、その親である自分がどのような「顔」でいられるのか楽しみだと感じました。

(在園児のお父さん)

### 保護者OB

改めて、くるみの人と人とのつながりの深さ・太さを感じました。6人の子ども達は、この多くの方々の想いを頂いて過ごしてくれたのだなあ……と、感謝の気持ちで一杯です。子ども達にも私達夫婦にとりまして大切な大切な出会いであり19年間のお付き合いは何事にも代えがたい賜物です。

子ども達に根付いた人と自然との関わりは、彼ら彼女らにとって宝物になると信じています。ありがとうございました。

(今春19年間のくるみ生活を

卒園されたお父さん)

## 保護者のコーナー 村上さん

くるみに来て、二度目の秋を迎えました。

長男は学童で、次男はつばめ組で楽しく過ごしています。長男は小学校に入学し勉強も私が思っていた以上に頑張っています。学童から帰ると宿題を自発的にするんです！もうビックリです。

2年前くるみに助けを求めるように来たあの時からの事を考えると、こんなにもよく成長したな、と思うぐらい長男はたくましくなりました。

当時、トイレも一人ではできず、一人で遊べない、待てない、自分の思うようにいなくなるとパニック。

「今からクッキー作って」…パニック「おなかすいた」…パニック「海行きたい」…パニック。待てないので、言ったらすぐそうならないとパニックでした。

そして、多動、衝動、家の中では私から離れられないのに、外から声や何かの音がするとピューっと飛び出してしまいます。もちろん外に行く＝危険でほっとくわけにいかず、連れ戻しに行くのですが、そう簡単に戻ってくれず、大泣き、大暴れ、家にはまだ小さい次男もいたので、残してもおけず、昼夜かまわず続くと「もういい。長男なんか知らん。」と涙が出てきました。

当時は、走っている車を追いかけたり、道路に飛び出したり、寝転がったりの連続でした。

そんな長男をかかえ どう関わればよいかを悩み 本を読んだり、いろんな人に相談をしました。

その中で何とか私なりに関わり方を身につけていったのですが、これでいいのか？間違っているんじゃないか？と迷いながらの毎日でした。くるみに入園し一緒に子育てして行く中で、これでよかったんだ、こうすればいいんだ、と自信を持って長男と向き合えるようになったと思います。

くるみの強い刺激を避ける生活は、私自身の子どもの頃からの体験とも重なって、本当に大切なことだと実感しています。

強い刺激とは、わが子にとってはテレビ、パソコンなど機械音や電磁波でした。特にテレビ…長男と私は似た所があります。

私はテレビなどのショッキングな映像を見ると、それが頭のなかからなかなか消えません。頭の中にはそれいっぱいになり、消す為には自分で何度も何度も「現実じゃないこと。」と言いつつ聞かせます。もちろん、大人なので、ドラマの中の事で非現実的な事は分かっていますが、映像が頭に焼きつき、現実起こったような錯覚を起こします。その状態はしんどいので、何日もかけて、頭の中で、自分でシーンを変えたりします。長男もやっぱりまだ言葉で説明できない年齢ですが、同じような感覚をもっているのではないかと思います。しかも、まだ見た映像は現実的な事とってしまうと思います。

このことだけがすべてではないのですが、この場を借りて伝える事が大事だと思い、少し書かせていただきました。子どものやわらかな脳には刺激が強すぎるんだと思います。

我が家ではやっとテレビのない生活が普通に送れるようになりました。しかしながら、新たな課題も出始め、それを一つ一つクリアしていかなければならないと思っています。

そのため、いろいろな方に心配をかけ、心を配ってもらい、それに助けてもらいなんとかやっています。

まだまだ親になりきれない私達、くるみという場所からつながった、みんなの手は離せなくて、いっぱい迷惑もかけているかもしれないけれど、家族一人一人がしっかり歩けるようになるまで、つながっていきたいなと思います。

# 行事予定（10月～1月）

※ 変更する場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。  
12月30日～1月4日は冬休みをいただきます。

運動会	10月23日(日) 9時～14時 雨天順延 11月3日	子どもから大人まで参加する運動会です。 やりきる子どもたちの素敵な姿を見に来てください。	無料・予約不要
秋の大バザー	10月30日(日) 10時～14時	毎年恒例となっております秋の大バザー開催！小雨決行です是非お越しください！	イズミヤ古市店東側 特設会場
園庭開放	毎週火・水・木 10時～16時	広くて自然がいっぱいの園庭を開放しています。 汚れても大丈夫なように着替えやタオル等をもってお越し下さい。	無料・予約不要
親子リズム& 保育園を知らう	11月6日(日) 9時半～11時	「親子リズム」は動きやすい服装で。「保育園を知らう」では保育園探しをしている方、くるみに興味をお持ちの方などに、くるみの保育をご紹介します。リズム終了後、子育て相談もあります。	無料・予約不要
石川河川敷が臨時駐車場。園まで送迎します。送迎時間 8:45～9:15			
赤ちゃんあそび	11月9日(水) 12月14日(水) 1月14日(水) 10時～11時	寝返りや、はいはいをする乳児を対象にしています。 あやし方を知って、わが子との遊びを楽しみましょう。	無料・予約不要
リズム遊びの会	11月16日(水) 12月21日(水) 1月18日(水) 10時～11時	歩いている子どもを対象にしたリズム遊びを行ないます。 子どもの発達を促すリズム遊びを体験します。	無料・予約不要
給食体験	赤ちゃんあそび 及 リズム遊びの会終了後 11時～12時	年齢に応じたメニュー。食材の切り方、味付け、食器等参考にしていた だけることもたくさんありますよ。	要予約 各日3組限定 大人 600円 子ども 400円
くるみ語りの会	11月2日(水) 1月25日(水) 10時～11時	絵本の読み聞かせサークルです。絵本について親子で学ぶことを目的と して活動をしています。いろいろな絵本の紹介、絵本作者の意図、昔話 についてなどなど。 11月2日はゲスト講師の山根川さんが語りについてお話ししてくれます。	無料・予約不要
体験保育	11月26日(土) 12月17日(土) 1月21日(土) 9時30分～14時	園児と一緒に遊び、おいしい給食を食べます。 お昼寝の間に保護者と懇談をします。 昼食時のおしぼりのご用意をお願いします。	要予約 大人 900円 子ども 600円 (食事代等込み)

## 2012年度版「保育カレンダー」の普及に ご協力をお願いします。



2012年版の保育カレンダーができました。このカレンダーは、くるみが加盟している“全国保育実践交流会”の年長児が卒園期（2月～3月）に描いた絵で編集されています。

3月11日に発生した地震・津波・そして原発事故は、東北・北関東の子どもたちの生活を脅かし、内部被爆の不安は募るばかりです。1日も早く“安心して戸外で遊べる環境”になることを願い、エネルギーあふれるカレンダーを皆様のお手もとに届けたいと思います。

お問い合わせ

TEL 072-957-3282（12:00～17:00 でお願ひします）

mail: kurumi@kosodate-kurumi.com カレンダー担当まで